

103-212

問題文

85歳女性。再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の治療を受けている。この患者の処方箋を、家族が薬局に持参した。

(処方)

オメプラゾール錠 10 mg 1回1錠 (1日1錠)
1日1回 夕食後 14 日分

家族より、最近飲み込む力が弱まり服用の際に苦労しているので、薬が飲みやすくなる方法はないかとの相談を受けた。

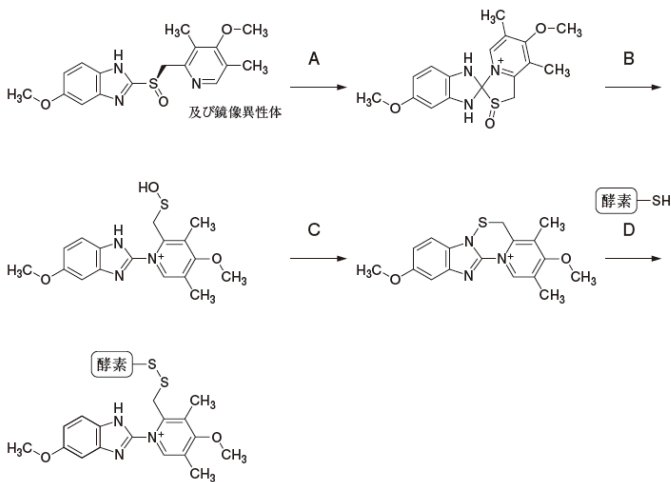
問212

薬剤師の対応として、適切なのはどれか。2つ選べ。

- 1. オメプラゾール錠を正確に半錠に分割して調剤する。
- 2. オメプラゾール錠を乳鉢で粉碎して調剤する。
- 3. ラベプラゾールNa錠へ変更し、乳鉢で粉碎して調剤することを医師に提案する。
- 4. ランソプラゾールカプセルへ変更し、脱カプセルして調剤することを医師に提案する。
- 5. ランソプラゾール口腔内崩壊錠への変更を医師に提案する。

問213

オメプラゾールが薬理作用を示す際の生体内における変化(A～D)に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。



- 1. Aの反応はpHが7より大きいと加速される。
- 2. Bの過程で不斉中心は消失する。
- 3. Cは酸化還元反応である。
- 4. Dでは酵素のシステイン残基と反応する。

解答

問212 : 4, 5問213 : 2, 4

解説

問212

オメプラゾール、ラベプラゾールは 粉碎不可という点がポイントになります。また、半錠に分割するのは 解決になっていません。従って、選択肢 1~3 は誤りです。

以上より、正解は 4,5 です。

※PPI (Proton pump inhibitor) は、 大体粉碎不可ですが、 ランソプラゾール (タケプロン) は 緩やかにであれば粉碎可能です。

問213

オメプラゾールは弱塩基性薬物であり、 酸分泌が生じている所に集積し 特異的に活性化されて作用を示します。

選択肢 1 ですが

A の反応は、酸による活性化です。 従って、 pH は 7 より小さいと考えられます。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は、正しい記述です。

選択肢 3 ですが

H_2O が抜けているので脱水反応と 考えられます。 酸化還元反応ではありません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 は、正しい記述です。

以上より、正解は 2,4 です。